

## 愛臨技学術部研究班活動報告書

所属：輸血検査研究班 提出日：平成 29 年 7 月 31 日 報告者：小木曾 美紀

行事種別	基礎講座	行事番号	170003124	
開催日	平成 29 年 7 月 29 日 (土)			
時間	基本コース 開始	14 時 00 分	終了	17 時 30 分
場所	名古屋市立大学医学部 基礎研究棟 4F 微生物実習室 (所在地 名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄 1)			
テーマ	実技講習会 「輸血検査のテクニックを学び、現場で生かそう！！」 基本コース			
生涯教育履修点数	専門教科 20 点			
司会	日進おりど病院	小木曾 美紀 技師		
講師	輸血検査研究班 班員			
内容	<p>基礎講座は、基本コースと応用コースの2コースを設けて行った。</p> <p>基本コースは、輸血検査の基本操作、血液型検査、交差適合試験について実技講習を行った。参加者を2名1班に分け合計17班作成した。各班に班員が実務委員として付き、実技指導を行った。日当直のみで輸血検査を実施されている方や若手技師で輸血検査の経験が少ない方が多く参加されたので、試験管法での基本的操作の習得については、手厚く指導することができた。</p> <p>基本操作は、赤血球浮遊液の作成方法、赤血球洗浄方法、試験管の振り方、反応の見方、凝集の強さの見方について、基本手技用検体にて行った。</p> <p>血液型検査は、正常検体で血液型検査の基本方法を習得後、部分凝集がみられる検体を用いて、試験管法でみられる部分凝集について確認した。またスライド法でどのような反応態度となるかをデモンストレーションで確認した。</p> <p>交差適合試験は、生理食塩液法のみ実施し、手技を確認した。また異型輸血の場合の考えた方や対応方法について考えた。</p> <p>実務委員がほぼマンツーマンで指導することで、手技の指導が細かく行うことができ、参加者もわからないことは、その場ですぐ聞ける体制であったので、輸血検査の基本手技の習得することができたと思われる。</p>			
参加者	総数：54名（会員54名、非会員 名、賛助会員 名、学生 名、その他 県外 名）			
共催、後援など				

## 愛臨技学術部研究班活動報告書

所属：輸血検査研究班 提出日：平成 29 年 7 月 31 日 報告者：小木曾 美紀

行事種別	基礎講座	行事番号	170003125	
開催日	平成 29 年 7 月 30 日 (日) 応用コース			
時間	応用コース 開始	9 時 0 0 分	終了	17 時 00 分
場所	名古屋市立大学医学部 基礎研究棟 4F 微生物実習室 (所在地 名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄 1)			
テーマ	実技講習会 「輸血検査のテクニックを学び、現場で生かそう！！」 応用コース			
生涯教育履修点数	専門教科 20 点			
司会	日進おりど病院 小木曾 美紀 技師			
講師	輸血検査研究班 班員			
内容	<p>応用コースは、血液型検査、抗体解離試験実施とその抗体同定、不規則抗体スクリーニング・抗体同定とその症例についてグループディスカッションおよび発表を行った。参加者を 3 名 1 班に分け、各担当実務委員 1～2 名が班に付き実技指導を行った。輸血検査経験年数の浅い方から、認定輸血検査技師の取得を目指す方など輸血検査のスキルアップと検査結果から何が考えられるか適合血選択までの知識習得を行った。血液型検査では、部分凝集やオモテ・ウラ不一致の結果が得られた時の考え方や対応方法について確認した。</p> <p>また、抗体解離試験を実施し、得られた解離液を用いて抗体同定を行った。グループディスカッションでは、班内で実施した血液型検査、不規則抗体検査の結果をもとに結果のまとめ、適合血の選択、医師への報告方法の検討を行い、その後各班の代表者による発表を行った。</p> <p>輸血認定検査技師の取得を目指す方、スキルのステップアップを目指している方々が幅広く参加され、手技の確認、消去法、適合血の選択、医師への報告と輸血部門での現場に戻られてから実践で使用できる内容の実技講習会となった。</p>			
参加者	総数：65 名 (会員 60 名、非会員 名、賛助会員 名、学生 名、その他 県外 5 名)			
共催、後援など				